

2025 年 3 月 18 日

2024 年度「肥銀GAP資金制度」贈呈式の実施について

当行は、大学等の研究・開発段階にある技術やノウハウを事業化させることを目的に、「肥銀GAP資金制度」を活用して、下記のとおり 4 名の研究者に対し、研究資金の贈呈を行いましたので、お知らせいたします。

今後も本件を始め、肥後銀行グループの総力を挙げ、大学等の技術シーズを熊本発の新たなビジネス創出につなげることにより、持続可能な地域づくりに貢献していきます。

記

研究者名（大学名 50 音順）	内容
熊本大学 大学院先端科学研究部 教授 小林 牧子	胎動カウンターシステムの開発、および胎動と胎児の健全性との相関性調査による新たなデバイスの開発
熊本大学 大学院生命科学研究部 准教授 東 大志	バイオ医薬品の研究開発を加速させるナノロボットの社会実装
崇城大学 大学院工学研究科 教授 石田 誠一	新たな生体模倣システム「MPS-Chip システム」の開発
崇城大学 生物生命学部 教授 平 大輔	共生菌を利用した植物病害防除法の開発

以 上

【贈呈式の模様】（2025 年 3 月 17 日 肥後銀行本店 2 階会議室にて）



受賞者と記念撮影



参加者全員で記念撮影

「肥銀GAP資金制度」・・・県内大学、高等専門学校内の研究段階にあるディープテックの社会実装に向けた事業化支援を目的とした寄付型による支援制度